

NEWS

誰がいつ決めた

## 鷺沼駅前再開発

No.6 2021年4月26日発行  
 鷺沼駅前再開発を考える会  
 連絡先 藤田 宏  
 ☎090-6034-7686  
 [部内資料]

## 1万人署名実現めざしラストスパート

「鷺沼駅前再開発とタワマンの見直しを求める陳情署名」は、4月21日現在で9516筆となり、目標の1万人まであと500足らずとなりました（このうち鷺沼考える会が集めた署名は1103筆）。

この署名は、市議会の街

づくり委員会で5月20日過ぎには審議をされる予定です。それまでに、1万人署名を突破して、鷺沼再開発・タワマンの見直しを求める宮前区の市民の声が大きく広がっていることを議会に届けることが大切になります。

は絶対に必要と、「保育士さんはもちろん、園内に署名用紙を置いて、協力してくれる父母にも署名をお願いします」と、署名用紙をそれぞれ50枚、100枚と受け取ってくれました。

## 保育所向けチラシが好評

鷺沼考える会事務局は、保育園むけの署名用紙を準備。署名用紙の裏面に、ビル風の危険が一目でわかるイラスト入りのチラシ「さぎぬまさんぽとビル風」を作成しました（写真）。園児の父母に署名をお願いするのに分かりやすい、訴えやすい、とても好評でした。



## ビル風が危険——保育園に申入れ

鷺沼考える会は、1万人署名の実現をめざして、ラストスパートをかけようと、タワマン建設に伴うビル風の危険を、鷺沼駅前周辺の保育園に知らせ、園児の父母に署名への協力をお願いする取り組みを進めています。

園児の送り迎えのママチャリの運転が危険になる、園児が遊ぶ園庭や公園で、体重10キロ前後の園児が吹き飛ばされかねない——そんなビル風の危険を保育園

の園長にお会いして直接訴え、署名への協力をお願いをしました。

25日までに鷺沼駅周辺の5つの保育園と連絡を取り、2つの保育園で、園長が応対してくれました。

「鷺沼再開発はもうきまってしまったのでは？」などの疑問に答えるとともに、ビル風の危険を訴えると、「鷺沼のビル風の危険は想像以上」「父母の送迎も大変になりますね」など、話がはずみます。園児の安全

「市民」を無視した「開発」

2015年6月2日 川崎市と東急が東急沿線の街づくりにおける連携協定を結んだ。締結式で東急の野本社長は「駅はその街の顔。駐車場というだけでなく生活者、来街者の安定拠点、情報拠点であることも求められる」と発言。福田市長は「幅広く連携して、ウィンウィンの関係を築いていきたい」と応じた。神奈川新聞がこのように報じてから6年が経過しようとしている。

当初私自身も「区役所と図書館が鷺沼地区に移ってきたら、どんなに便利で住みよくなるだろうか、新聞もたくさん読めるし」と「開発」への期待が膨らんだ。

しかし計画が小出しに公表されていくうちに、それは疑念へと変わって行った。2019年8月19日にポスティングされた「(仮称)鷺沼駅前地区第一種市街地再開発事業に係る条例環境影響評価方法縦覧に関するご案内」の諸資料を見て愕然とした。いくら何でも「地上37階と20階の高層マンション」とは。この地に住む市民にとって、にわかには理解しがたい構想だった。

「開発」という名で市長と東急は利益共有のプランを練った。「ウィンウィンの関係」には、市民が視野から抜け落ちていた。

(モンブラン・鷺沼)

**投稿歓迎** 鷺沼駅前再開発に関わって川崎市や再開発組合に対する意見や要望など、住民の声の投稿を歓迎します。

字数は500字程度です。「考える会」事務局の藤田宛連絡ください。(匿名可)  
 ☎090-6034-7686